

最近気付いたこと

中谷地区 広報連絡委員 畔上 保宣

私は毎朝、健康のためにジョギングかウォーキングを
やっています。その時に気づいたことです。毎日4～5
人ぐらいの人とよくすれ違いますが、顔見知りの人はほ
とんどいません。そのため顔を合わせることなく通り過
ぎるようにしていました。

しかし、私の気持ちは何かぎこちなさを感じていま
した。そのため、良く会う人には「おはようございます」の
挨拶を試してみました。挨拶をされた人は、顔を合わせる
ことなく、小さな声で挨拶を返してくれる人とか無言の
人ばかりでした。そのため見知らぬ人への挨拶は、相手
にとって迷惑行為なのかなあと感じてしまいました。

それからしばらく挨拶をやめていました。するとある
時、私が素通りしようと思っていた時、見知らぬ人の方
から「おはようございます」という爽やかな声を掛けられ
ました。私は思わず顔を見合わせて挨拶をしてしまいま

した。するとニッコリ笑顔が返ってきました。その時の
私の気持ちは、よし！今日も頑張ろう！という気持ちに
なりました。

それ以来、見知らぬ人でもすれ違う時は挨拶をするよ
うにしました。最初のころは「おはようございます」と声
を掛けても、おはようございますという返事が返ってこ
る人と無言の人がいました。そのうちに声が小さい人で
も、だんだん声が大きくなってきて、顔を合わせるよ
うな人も出てきました。無言だった人も声を出してく
れるような人も出てきました。

見知らぬ人に声をかけるのは、賛否両論がありますが、
私は良くすれ違う人には挨拶を交わすぐらいは良いので
はないかと思うようになりました。挨拶を交わしてい
るとお互いの顔を良く見るようになり、なんとなく気持ち
が良くなりました。

やっぱり挨拶は、恥ずかしがらずに自分の方から相手
の顔を見ながら積極的にやったほうが良いと思うよう
になりました。ほんの一瞬の出来事だったのですが、70
歳を過ぎて気づきました。

シリーズ 野木町のごみ処理 161 問生活環境課 ☎(57)4246

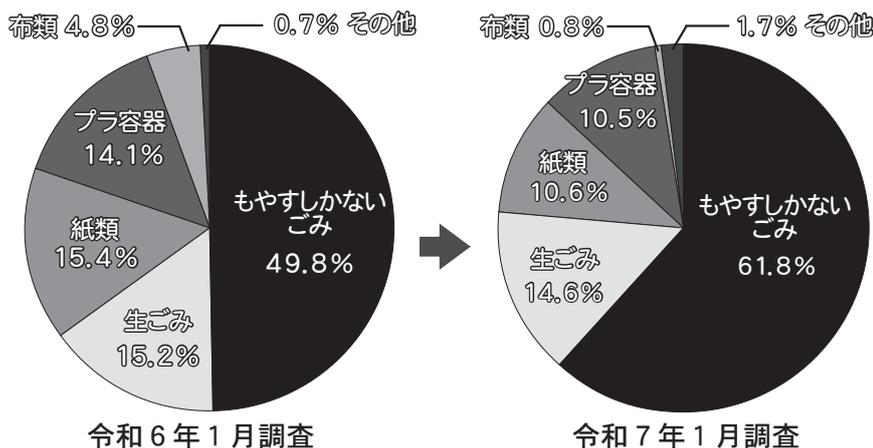
「もやすしかないごみ」組成分析調査の結果について

昨年10月から指定ごみ袋制度が始まり、指定ごみ袋制度による「もやすしかないごみ」の分別促進効果がどの程度
発現しているかを確認するために、令和7年1月に中央清掃センターにて、野木町、小山市、下野市の「もやすしか
ないごみ」約100世帯分ずつの組成分析調査を実施しました。

調査結果として、野木町の可燃ごみとして排出された物の重量比は、「もやすしかないごみ」が約62%、紙類約11%、
布類約1%、生ごみ約15%、プラスチック容器包装約11%という結果となり、4割近くが資源化できるごみでした。

令和6年1月に実施した同様の調査結果と比較すると、約10%程度「もやすしかないごみ」の適合品の割合が増加
したことから、分別が改善傾向に見えることが示唆されます。しかしながら、「もやすしかないごみ」の中にはまだ
多くの再資源化可能なものが混入しているため、ただ単に指定ごみ袋を使用するのではなく、指定ごみ袋のデザ
インにも表示があるとおり、資源化可能なものの分別徹底についてご協力くださるようお願いいたします。

「もやすしかないごみ」組成分析調査の結果



「もやすしかないごみ」に含まれる
不適合品(資源物等)の割合が10%程度減少!!

